

事業所名 グループホーム ほのぼの 平尾の家

作成日 : 平成 26年 1月 20日

評価結果

市町提出日 : 平成 26年 1月 20日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の重度化や看取りに対しての職員態勢が整備されておらず、又、受け入れ態勢や居住環境、職員の知識など不十分である。	突然死や老衰など、不測の事態に対する対応について、職員間で話し合う場を持ち、知識の共有を図る。	職員間での不測の事態の対応を確認・話し合いをし、知識の共有を図る。	1 か月
2	35	今後においても、災害時に的確な行動が出来る様に「いつ起こるか分からない」という事を再確認する。訓練としては、最低限の回数をこなす事はもちろんであるが、いろんな状況を想定し、又、どの職員でも対応出来る様に訓練内容を考慮していく必要があると考えます。	・災害はいつ起こってもおかしくないという事を再確認し、災害発生時に的確な行動が行える様にする。 ・地域との災害発生時の協力体制を確認する。	・毎朝の職員間の申し送り時に、緊急避難時の各自の担当を声に出して確認する。	継続 か月
			・地域との災害発生時の協力体制を確認する。	・地域推進会議の場を借り、地域との協力体制の確認や保険者・公的機関との連携体制を確認する。	1 か月
3					か月
4					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。